

SDGs 環境経営活動レポート

2025 年度

活動期間 2025年2月1日～2026年1月31日



【ご挨拶】

株式会社倉屋は1869年創業以来の実績と信頼の上に卸売業を基盤として、多様化したお客様のニーズに即応できる「流通サービス業」を目指しています。環境経営方針を基に環境経営活動を展開し、地球環境に優しい企業としてあるべく、環境への配慮も企業活動の大きな役割としてとらえ、新たな一歩をあゆみだしました。

以下、「SDGs環境経営活動レポート」としての取り組みをまとめましたので、私達の取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境経営活動に生かしてゆきたいと存じます。

株式会社 倉 屋
代表取締役社長 高橋 達樹

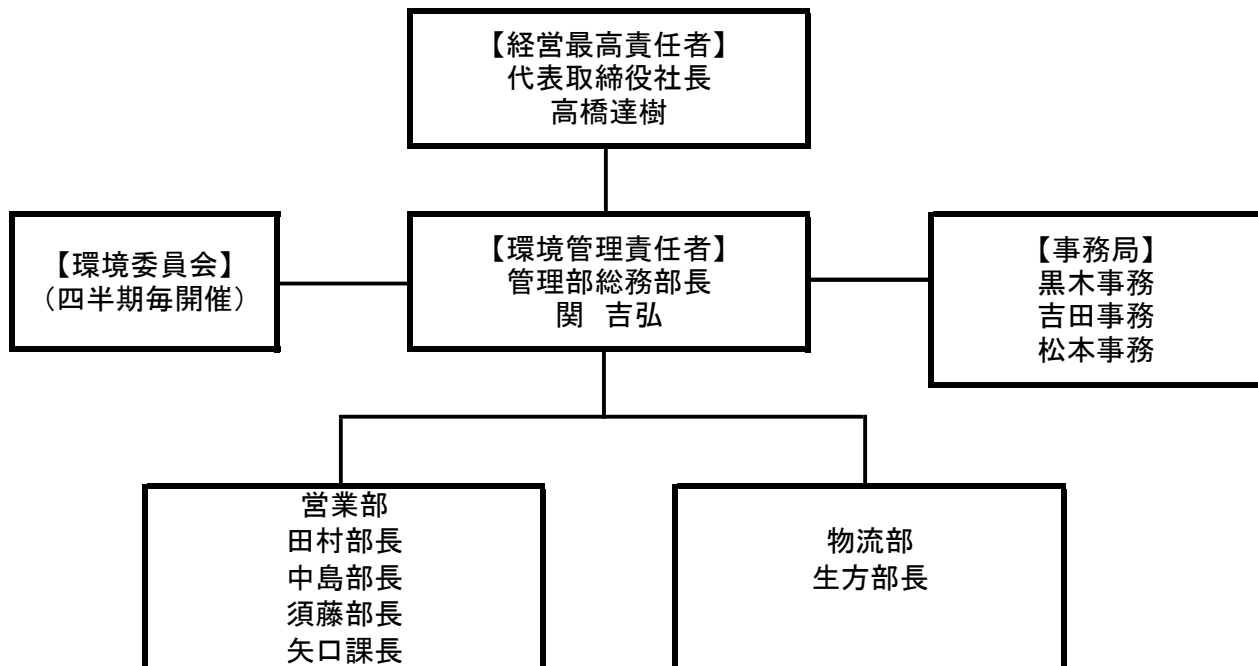
2026年5月1日

株式会社 倉 屋

1. 目次

1. 目次	2頁
2. 組織の概要及び環境管理体制	3頁
3. 事業概要	4頁
4. 環境経営方針	5頁
5. 環境経営目標	6頁
6. 次年度環境経営活動計画	7頁
7. 環境経営活動計画の取組みと評価	8頁
8. 次年度環境経営目標と環境経営活動計画	9頁
9. 環境経営関連法規制の遵守状況	10頁
10. 代表者による評価と見直し	11頁

2. 組織の概要及び環境管理体制



職名	役割
経営最高責任者	【代表取締役社長 高橋達樹】 ①環境経営管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む)を準備する。 ③環境経営方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境経営管理責任者	【管理部総務部長 関 吉弘】 ①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境経営委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高経営責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高経営責任者に提供する。
事務局	【黒木事務 吉田事務 松本事務】 ①事務局として、環境経営管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境経営委員会	最高経営責任者・環境経営管理責任者・事務局・部門長で構成し、4半期毎に環境経営管理責任者が召集する。環境経営目標の設定、環境経営活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境経営管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

3. 事業概要

1. 事業所及び代表者名

株式会社 倉屋
代表取締役社長 高橋 達樹

2. 所在地

〒370-0007 群馬県高崎市問屋町西1-4-6

3. 環境経営保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役社長 高橋 達樹

環境経営責任者 : 管理部総務部長 関 吉弘

担当 : EA21事務局 事務担当 3名

連絡先

TEL : 027-361-3441

FAX : 027-361-3437

4. 事業の内容 (認証登録範囲)

日用品雑貨の卸売業、インテリア内装工事

5. 事業規模

活動規模	単位	2025年度 (38期)
主要製品販売額	百万円	1,516
従業員数	人	42
事務所及び倉庫延べ床面積	m ²	4,004

4.環境経営方針

〔基本理念〕

㈱倉屋は、地球の環境破壊をくい止め、美しい地球を子孫達に残すことが、人類共通の最重要課題であると考え、出来る限り環境に配慮した事業活動をすると共に、お客様の環境保護活動に有益な情報を提供することに努めてまいります。

〔基本方針〕

上記理念の実現にあたり、当社の主力事業である卸売業と内装工事業の業務遂行に於いて、以下に基本的な活動項目を掲げ取り組みます。

- ①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力量の削減・化石燃料の削減に努めます。
- ②廃棄物の発生を抑制するとともにリサイクル率の向上に努めます。
- ③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。
- ④環境に関わる法規その他公的規制等を遵守します。
- ⑤環境経営方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。
- ⑥環境経営管理に関する情報は社内外に開示し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。
- ⑦お客様の環境保護活動に有益な情報を提供します。
- ⑧エコドライブを推進し、交通事故撲滅に努め環境に配慮した事業活動をしします。

制定日： 2010年 2月 1日

改訂日： 2019年 2月 1日

株式会社 倉 屋

代表取締役 高橋 達樹

5.環境経営目標

当社に於ける2024年度(2024年2月1日～2025年1月31日)の環境負荷実績を把握し、2025年度の目標を下記のとおり定め活動を開始した。

1. 主要な環境経営目標と環境経営負荷・実績

環境経営目的項目	管理実施項目	単位	実績	目標	実績
			2024年	2025年	
			24年2/1～25年1/31	25年2/1～26年1/31	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (目標:前期に対し、1%削減)	電力の削減	Kwh/百万円	39.56	39.16	37.15
	ガソリン使用の削減	ℓ/百万円	2.26	2.23	2.20
	軽油使用の削減	ℓ/百万円	33.29	32.96	32.29
	ガス使用の削減	Nm ³ /年間使用量	20.00	19.80	22.00
	二酸化炭素排出量	Kg-CO ² /百万円	107.22	106.15	103.54
2. 一般廃棄物排出量の削減 (目標:前期に対し、1%削減)	一般廃棄物の削減	t/年間排出量	16360.0	16196.4	15640.0
3. 建設産業廃棄物の再資源化 (目標:95%以上を維持)	再資源化率	%/年間排出量	96.8	95.0	99.7
4. 水資源投入量の維持 (目標:前期に対し、維持)	水道水使用の維持	m ³ /人数	5.47	5.47	5.71
5. グリーン購入比率の向上	現状を把握	%	61.4	62.0	65.0
6. お客様へ環境保護活動に有益な情報を提供	情報提供と販売	件数	25	25.3	30
7. 環境経営保全の推進	交通事故無事故	件数	3	0	1

※購入電力の二酸化炭素排出係数は0.406を使用。

2025年度二酸化炭素総排出量

※2024年度売上1,438百万円:2025年度売上1,516百万円

156,963.87(kg-CO₂)

2.上記の目標の他に、以下の取組を推進する。

①ダンボール・コピー用紙・カタログ等リサイクルへの再利用

②使用不能パレットの納入業者への返却及び譲渡による再利用(リユース)

当社は日用品雑貨の卸売業であり、送られてくる荷物も多く使われている梱包資材もパレットも多量に発生する。

梱包資材は資源リサイクル業者に委託、パレットは運送会社及び取引先各社に協力を仰ぎ返却再利用する取組を推進している。

③化学物質は使用しておりません。

※ 資源再生利用は100%実施継続中

※ 木製パレットは約98%以上・プラに関しては100%再利用している

6. 環境経営活動計画

活動期間 2025年2月～2026年1月

環境経営方針	環境経営目的				環境経営活動計画	
	項目	年度目標	中期目標		2025年度	
		2025年度	2026年度	2027年度		
地球の環境破壊をいとめることと影響する次の項目に対して取り組みます	売上高100万円	2024年度	2024年度	2024年度	電力・ガソリン・	①エアコン空調温度の適正化
	当りの二酸化炭素排出量の削減	実績に対して1%の削減	実績に対して2%の削減	実績に対して3%の削減	軽油の消費量の削減	②照明、PC電源不要時、ガス不使用時期の電源OFFの徹底 ③エアコンの更新及び照明器具LED化 ④社用車車検、整備、エコドライブの徹底、燃費の向上
	一般廃棄物の削減	2024年度 実績に対して1%の削減	2024年度 実績に対して2%の削減	2024年度 実績に対して3%の削減	一般廃棄物排出量の削減	①一般廃棄物分別の徹底 ②コピー裏紙使用の徹底 ③電子メール・受注システム利用による紙排出の削減
	建設産業廃棄物再資源化率の向上 ※維持管理	排出量の 実績に対して95%以上を維持	排出量の 実績に対して95%以上を維持	排出量の 実績に対して95%以上を維持	エンドユーザーによる処理の推進	①現場での廃棄物分別の徹底 ②適正な廃棄物の処理 ③マニフェストの管理の徹底 ④再資源化率の把握 ⑤協力会社との適正処理の確認
	従業員一人当りの水資源投入量の削減 ※維持管理	2024年度 実績に対して1%の削減	2024年度 実績に対して2%の削減	2024年度 実績に対して3%の削減	水資源投入量の維持管理	①節水活動の推進 節水呼びかけポスター・シール貼付 ②トイレ自動水流の時間設定変更 ③給排水管路の点検と使用量のチェック
	グリーン購入比率の向上	購入品選別 お客様への情報提供	購入品選別 お客様への情報提供	購入品選別 お客様への情報提供	購入品選別 お客様への情報提供と販売	①事務用品のグリーン購入の推進 ②お客様への環境活動に有益な情報提供、グリーン・環境対応商品販促の推進(カタログ、情報)等を利用
	交通事故の削減 環境保全の推進 環境配慮型商品の提案 施工時の廃棄物持ち帰り	交通事故の削減 環境保全の推進 環境配慮型商品の提案 施工時の廃棄物持ち帰り	交通事故の削減 環境保全の推進 環境配慮型商品の提案 施工時の廃棄物持ち帰り	交通事故の削減 環境保全の推進 環境配慮型商品の提案 施工時の廃棄物持ち帰り	交通事故の削減 環境保全の推進 環境配慮型商品の提案 施工時の廃棄物持ち帰り	①交通事故の削減 ②倉庫及び事務所内の整理・整頓、社内駐車場の清掃 ③社内駐車場での漏油等の管理の徹底 ④開封化学系商品・産業廃棄物の管理の徹底

7. 環境経営活動計画の取組みと評価

取組計画	可否	評価
1. 売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減 『目標』 前期に対し、1%削減 「目標達成手段」 (1)電力の削減 ①空調温度最適化・照明の管理 ②空調設備の更新と照明のLED化 (2)自動車燃料使用量の削減 ①エコドライブの徹底、燃費の向上 ②社用車点検・整備 (3)ガス使用量の削減 ①給湯器の燃焼時間の管理	×	(1)電力では、本年度目標より約5%下回ることが出来、年間使用量としては対前年で564kwhの削減が達成。リフォーム事業部倉庫の電気設備LED化、また11月に社内空調の更新工事により、冬季の消費電力が抑えられたと考える。 (2)社有車について、新車購入や営業員・配送員の独り立ちで稼働が増えた為、売上高としての目標は達成出来たが、原単位でのガソリン・軽油共に昨年比で使用量が増加してしまった。ガソリン約-2%減(93.15ℓ増)、軽油約2%減(1082.03ℓ増) (3)ガスは、昨年同様に主電源をこまめに入切をしたが、6月・10月に使用があり、7月～9月だけ主電源OFFの実施により、目標より10%(2㎡)の増加となった。結果として二酸化炭素排出量は目標値より2.5%減、実数で2783.08(kg-CO₂)の排出量増加となった。今年度は価格高騰も要因し前年比で売上が増加した為、売上高ベースで目標達成出来たが、来年度は実数でも削減できるように努める。
2. 一般廃棄物排出量の削減 『目標』 前期に対し、1%削減	○	本年度目標3%の削減、原単位で約720kg削減、全てリサイクルとして排出。 通常の商品販売ではなく、スポットの売上(機器の搬入や購入先からお客様への直接の納品)により、段ボール等の回収が減ったと思われる。
3. 建設産業廃棄物の再資源化 『目標』 95%以上を維持	○	再資源化率99.7%と達成。 但し、排出量は約2倍となっており、今年度はタイルカーペット・クッションフロア・クロスの受注(排出)が多く、重量も重いので増加したと思われる。
4. 従業員一人当たりの水資源投入量の削減 『目標』 前期に対し、維持管理	△	使用量としては、ほぼ前年同量で維持しているが、年初から年度末までの従業員数減少により人数割では目標数値に及ばなかった。引き続き、こまめな点検と従業員への節水の呼びかけを行い、使用量の維持に努める。
5. グリーン購入比率の向上 『目標』 現状の把握と購入の促進	○	事務用品については昨年同様、出来る限りエコ商品を選定した購入に努めており、比率目標は達成。必要な商品で対象外の品目については対応が出来ないが、可能な限りで今後もグリーン購入に努めたい。
6. お客様に環境保護活動に有益な情報を提供 『目標』 現状把握と購入時の選別の徹底	○	推進カタログ・情報等をメーカーに確認しながら利用。 目標数26情報のところ、30情報と目標を達成することができた。昨今の体に安全・地球に優しい、エコ商品・バイオマス商品・リサイクル製品・FSC森林認証紙製品の広がりを受け、各メーカーもカタログ等が充実している。今後お客様にとって、環境保護活動に有益な情報を提供・販売する。
7. 環境保全の推進 『目標』 交通事故の削減	×	無事故を目標に取り組んだが、年度末に物損事故が1件、発生。停車中のドア開閉で強風により隣の停車車両にドアをぶつけてしまった。自然現象ではあるが不注意による為、社内での注意喚起を行った。 走行中の事故ではなかったが環境保全の目標は果たせなかった為、来年度は無事故を目指し、社員一同、さらなるエコドライブ・安全運転を心掛けたい。

8.次年度環境経営目標と環境経営活動計画

1. 主要な環境経営目標と環境経営活動計画

環境経営目的項目	管理実施項目	単位	実績	実績	目標	目標	環境経営活動計画
			2024年	2025年	2026年	2027年	
			24年2/1～ 25年1/31	25年2/1～ 26年1/31	26年2/1～ 27年1/31	27年2/1～ 28年1/31	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (目標:前期に対し、1%削減)	電力の削減	Kwh/百万円	39.56	37.15	36.78	36.41	①エアコン空調温度の適正化
	ガソリン使用の削減	ℓ/百万円	2.26	2.20	2.18	2.16	②照明、PC電源不要時、ガス不使用 時期の電源OFFの徹底
	軽油使用の削減	ℓ/百万円	33.29	32.29	31.97	31.64	③エアコンの更新及び照明器具 LED化
	ガス使用の削減	Nm ³ /年間使用量	20.00	22.00	21.78	21.56	④社用車車検、整備、エコドライブの 徹底、燃費の向上
	二酸化炭素 排出量	Kg-CO ² /百万円	107.22	103.54	102.50	101.47	
2. 廃棄物排出量の削減 (目標:前期に対し、1%削減)	一般廃棄物の 削減	t/年間排出量	16360	15640.0	15483.60	15327.20	①一般廃棄物分別の徹底 ②コピー裏紙使用の徹底 ③電子メール・受注システム利用 による紙排出の削減
3. 建築産業廃棄物の再資源化 (目標:95%以上を維持)	産業廃棄物の 削減	%/再資源化量	97	99.7	95.0	95.0	①現場での廃棄物分別の徹底 ②適正な廃棄物の処理 ③マニフェストの管理の徹底 ④再資源化率の把握 ⑤協力会社との適正処理の確認
4. 水資源投入量の維持 (目標:前期に対し、維持管理)	水道水使用の 維持	m ³ /人数	5.47	5.71	5.47	5.47	①節水活動の推進節水呼びかけ ポスター・シール貼付 ②トイレ自動水流の時間設定変更 ③給排水管路の点検と使用量の チェック
5. グリーン購入比率の向上	購入促進	%	61.4	65.0	65.65	66.30	①事務用品のグリーン購入の推進
6. お客様に環境保護活動に有 益な情報を提供	情報提供及び 販売	件数	25	30	30.30	30.60	②お客様への環境活動に有益な 情報提供、グリーン・環境対応商品 の推進(カタログ、情報)等を利用
7. 環境経営保全の推進	交通事故無事故 達成	件数	3	1	0	0	①交通事故の削減 ②倉庫及び事務所内の整理・整頓、 社内駐車場の清掃 ③社内駐車場で漏油等の管理の 徹底 ④開封化学系商品・産業廃棄物の 管理の徹底

2.上記の目標の他に、以下の取組を推進する。

- ①ダンボール・コピー用紙・カタログ等リサイクルへの再利用
- ②使用不能パレットの納入業者への返却及び譲渡による再利用(リユース)
当社は日用品雑貨の卸売業であり、送られてくる荷物も多く使われている梱包資材もパレットも
多量に発生する。
梱包資材は資源リサイクル業者に委託、パレットは運送会社及び取引先各社に協力を仰ぎ
返却再利用する取組を推進している。
- ③化学物質は使用なし。

9. 環境経営関連法規制の遵守状況

1. 当社に適用となる主な環境経営関連法規

法規制等の名称	遵守項目	遵守状況
自動車Nox.PM	排出抑制	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・産業廃棄物の収集運搬及び処分委託基準	遵法
	・産業廃棄物保管基準	遵法
	・マニフェストの管理	遵法
毒物・劇物取締法	・盗難防止	遵法
	・適切な容器や貯蔵場所	遵法
消防法	・指定数量以上の危険物の届出	遵法
	・消防用設備等の設置	遵法
	・防火管理者の設置	遵法
自動車リサイクル法	・リサイクル料金の支払	遵法
	・リサイクル券の保管	遵法
フロン排出抑制法	・簡易検査	遵法

2. 環境経営関連法規への違反、訴訟等の有無

違反については自社関係の違反はありません。

また、関係機関等からも特に指摘は無く、訴訟も同様にありませんでした。

10. 代表者による評価と見直し

1. 取り組みの評価と今後の課題

今年度は、電力削減のための照明設備の刷新を行い、一部電力削減を実現できましたが、複数社員の退職と補充人員の採用等で、人数が増減し、全体の使用電力量としては増加してしまいました。

また、インフレの価格改定の対応に追われ、エコ商材の得意先への情報提供・提案に関しては、昨年と比べ提案件数を増やすことができました。

2. 来年度の取り組み

来年度は、暑さ寒さに対する電力を抑えながらの対策などを検討したいと思います。また、エコ商材の得意先への情報提供、提案を更に推進していきたいと思います。



(株)倉屋は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

